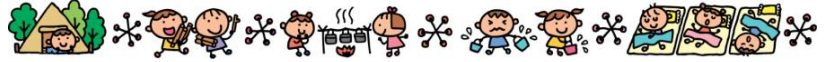




日に日に蒸し暑さが増し夏の到来を感じます。夏は海や山へと家族旅行を計画している方も多いことと思います。暑さが厳しいと体力を消耗してしまうので、特に小さなお子さん連れの場合は、ゆとりを持った計画を心がけてください。楽しい思い出は子どもたちの心の栄養になることでしょう。



子どもと遊び

転んだ時、とっさに手が出る機敏な動きは教えてできるものではありません。日常の生活や遊びの中で自然に備わっていくものです。子どもにとっての遊びは、生活そのものであり学習でもあります。

一人で遊ぶこと

一人でじっくり遊ぶことで集中力・想像力が養われます。声をかけて遊びを中断させたり、干渉しないで見守りましょう。



お友だちと遊ぶこと

人との関わりの中で、ルールやマナーを学び約束を守ることの大切さを知ります。約束が守れなかった時はどうすればいいのかな？遊びを通して解るようになります。

散歩

年齢や体力に合わせて色々な場所へ、出かけましょう。散歩での出会いや発見は、好奇心が満たされます。また、交通ルールを学ぶよい機会になります。



外遊びと室内遊び

からだをいっぱい動かす遊びと指先を使った遊びは、どちらもよい経験になります。バランスよく外遊びと室内遊びを楽しみましょう。

ケンカ

子どもは自己主張をしますが、自分の気持ちを上手く伝えることができません。時には大好きなお友だちと意見が分かれてしまいケンカになることがあります。ケンカをすることで少しずつ自分の気持ちをコントロールし、相手の気持ちを思いやることができるようになっていきます。

大人はケンカをすぐに止めるのではなく、子どもたち自身で解決できるように見守ることも大切です。ケガにつながるようなケンカに発展しそうなときは間に入ってお互いの気持ちを聞き落ち着かせてあげましょう。

とびひ（伝染性膿痂疹）にご注意を！

傷口から出る浸出液や虫刺され・あせも・湿疹などを掻き壊すことで出る浸出液に細菌が繁殖し、それらの浸出液がからだの他の場所に付着することで同じような発疹が次々に現れ、あっという間に広がるのが特徴です。



予防法

- ☆からだを清潔にする
- ☆爪を切る
- ☆傷を見つけたらすぐ処置をする
または受診をする



当園では、服に隠れる部位の場合はガーゼなどで処置をしていただければ登園は可能です。しかし、顔や手など服から出てしまう場所やガーゼなどで覆っていない場合は、登園を控えていただいています。ご協力をお願いします。



園医の一言

手足口病が流行していることをご存知ですか。口の中や手足に水疱性の発疹がでる感染症です。報告では90%が5歳以下の小さなお子さんが罹るようです。ご注意ください。
7月3日付

